

## 平成22年度 第2回経営協議会議事要録

日時 平成22年5月12日(水) 10時00分  
場所 ホテル名古屋ガーデンパレス 桜の間  
出席 学内委員 6名 欠席 なし  
学外委員 5名 欠席 1名

会議成立

開会 10時00分

議事に先立ち、学長からあいさつの後、前回の本会議以降の状況について以下のような報告があった。

- ・ 4月23日に文部科学省高等教育局小松審議官と本学の教育組織の改革・大学院博士課程の設置等の課題について協議したこと。学内では大学改革推進委員会において概算要求に向けて検討していること。
- ・ 6月9日に文部科学省から講師を招き、教員養成制度改革の動向等について、講演会を予定していること。
- ・ 刈谷市を始めとする知立市、安城市等の近隣市との連携を強化するため市長を訪問していること。
- ・ 4月24日に文部科学省中川副大臣を囲む会において、「我が国の高等教育の課題について」の説明を受け、各国立大学法人学長等と意見交換を行ったこと。
- ・ 4月28日の事業仕分け(行政刷新会議)で、国立大学財務・経営センターによる施設費交付金事業等が廃止となったこと。
- ・ 本日付の日本経済新聞によれば、教員免許状更新講習については民主党が今年度限りでの廃止を検討しているため、先行き不透明であること。
- ・ 本学の概算要求事項は、基本的には、科学・ものづくり教育推進、英語教育、外国人学習支援等の継続事業を中心に要求していくことをワーキングで検討していること。

次いで総務課長から、本日の配付資料の確認及び会議日程の説明があった。

### 議題

1. 平成22年度第1回経営協議会議事要録の承認について  
学長から提議され、原案どおりこれを承認した。
2. 国立大学法人愛知教育大学学長選考会議委員の選出について  
学長から提議され、折出委員から標記会議規程第2条第1項第2号の規定に基づき、本協議会規程第2条第1項第4号委員(学外委員)から3名の標記会議委員を選出願いたい旨、説明があった。  
これに対し、教育研究評議員の構成、学内意向投票権を有する者の範囲について質疑応答の後、学長から次に掲げる委員に同委員会委員をお願いしたい旨提案され、これを承認した。  
(五十音順)  
兼松 顯 委員(継続)  
神野重行 委員  
神谷明文 委員
3. 教員免許状更新講習(対面講習)の講習料について  
学長から提議され、事務局長から資料に基づき、標記について、昨年度の状況を踏まえ、受付終了後のキャンセル発生件数の抑制等を考慮し、変更することとしたい旨説明があった。  
これに対して、キャンセル後の受講方法、標記講習の受講対象者及び受講時期等について質疑応答の後、これを承認した。

## 報 告

### 1. 2009年度資金管理及び運用実績について

折出委員から、国庫短期証券等による資金運用実績及び資金繰表について、資料により報告があり、質疑応答の後、これを了承した。

委員からの主な質疑意見等 大学側の応答

長期運用が可能な資金もあると考えられるがいかがか。

今年度は前年度の繰越金がないため長期運用は難しい。(平成21年度で第一期中期目標期間が終了し、剰余金がない。)

経済不況の影響による学費納入が困難な学生の割合や過去との比較について伺いたい。

本学では目立った変化はないが、奨学金希望者は約20%ぐらい増えた。授業料の免除可能額は、通常授業料収入の5.8%であるが、今年度は、6.3%の額まで免除できる。可能な限りの学生支援をしていきたい。

### 2. キャンパス整備6カ年計画について

折出委員から、資料に基づき、標記にかかる基本方針、施設整備の考え方、建物の耐震状況等の施設整備費補助金による整備計画、施設費交付金による整備計画等について報告があり、質疑応答の後、これを了承した。

委員からの主な質疑意見等 大学側の応答

職員宿舎の戸数及び使用料について伺いたい。県は職員宿舎を廃止し、土地を売却した。大学周辺には賃貸住宅もあるので、職員自ら確保すべきではないか。宿舎の補修に大きな予算を投入することが必要なのか。一般の賃貸住宅への切り替えを検討してほしい。

入居戸数は2号棟で24戸程度。使用料は比較的安価である。改修は大学の自助努力で予算を充てなければならぬ。土地の売却は国のものなのでできない。宿舎については、意見を踏まえ検討したい。

職員宿舎に億という予算を投じるのは常識からはずれている。宿舎の貸与を条件に大学へ採用した職員がいるのか。

大学がこの場所に移転した当時は、勤務するには不便な場所であったため、宿舎はそれなりの意味はあった。現在はそうとばかりは言えない。

駐車場については増設されており、アクセスの不便さはわかるが、環境重視の時代でもあり、公共交通機関へのシフトを考えるべきではないか。

今後、名古屋市営地下鉄線の延長も予定されているが、名鉄バスの運賃が学生には高いため、自転車通学も増えている。今後、引き続き、名鉄とも交渉していきたい。大学へのアクセスは公共交通機関へシフトする仕組みを考えたい。

附属学校の耐震改修については、優先的に実施してもらいたい。

常時、生徒のいる場所は耐震改修を行っており、未改修部分は管理棟等である。

### 3. 次回開催日について

学長から、次のとおり報告があった。

第3回経営協議会

日 時 平成22年6月7日(月)14時

場 所 KKRホテル名古屋 蘭の間

議題等(予定) 概算要求ほか

閉会 11時58分